

平成28年度 事業別予算概要

事業名	91100 教育委員会運営費	会計	1 一般会計	総合計画	基本目標	3 生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
		款	9 教育費		基本分野	3 教育・文化	実施計画事業		
担当課	教育委員会事務局 教育総務課	項	1 教育総務費		分野	1 学校教育	H28実施計画額	千円	
	内線 2342	目	1 教育委員会費		施策概要	4 学びのセーフティネットの構築			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・教育行政全般の推進 ・教育委員会活動・教育振興基本計画の推進	概要	事業の実施手法(手段)	・教育委員会の運営
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・教育委員会の開催 定例会12回、臨時会4回 ・教育委員会規則等の議決 38件						
成果面	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
達成率(%)							
算出根拠等		目標値					
		実績(見込)					
		達成率(%)					
算出根拠等		目標値					
		実績(見込)					
		達成率(%)					
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・評価対象外の為該当なし。
-----------------	---------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・評価対象外の為該当なし。																	
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">・適正な運営に努める。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善	・適正な運営に努める。		拡大		縮小	二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)		拡大		縮小		廃止検討	
担当課評価	○ 維持・改善	・適正な運営に努める。																
	拡大																	
	縮小																	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)																
	拡大																	
	縮小																	
	廃止検討																	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 3,514	3,617	4,154	4,473
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 38	39	46	49
	受益者 全市民	(B) 92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	教育委員の活動及び委員会の運営	要求のポイント	事業実施の課題
------	-----------------	---------	---------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	4,154	4,473	319	4,436	4,436	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	4,154	4,473	319	4,436	4,436		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	91220 高等教育等支費事業費	会計	1 一般会計	総合計画	基本目標	3 生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
		款	9 教育費		基本分野	3 教育・文化	実施計画事業	高等教育等支援事業	
担当課	教育委員会事務局 教育総務課	項	1 教育総務費		分野	1 学校教育	H28実施計画額	7,000 千円	
	内線 2347	目	2 事務局費		施策概要	4 学びのセーフティネットの構築			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高等教育機関等に通う生徒	どうしたいのか(意図)	・高等教育機関等における教育の振興と教育費負担の軽減を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・市内の高等教育機関等に対して、教育費又は学生募集経費助成として補助金を交付する。
	対象者数	1,156 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	【私学振興補助金】・高山短期大学	5,000,000円(生徒の募集等に係る経費)							
	・高山西高等学校	1,471,000円(市内 528人、市外 151人)							
	【高校通信教育補助金】	250,000円(91人)							
	【定時制高校教育補助金】	250,000円(51人)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28	
	成果指標	私立学校生徒数	人	目標値	930	950	980	1,020	
				実績(見込)	950	959	1,009		
	算出根拠等			達成率(%)	102	101	103		
	成果指標	通信制・定時制高校生生徒数	人	目標値	129	142	147	155	
				実績(見込)	129	142	147		
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100		
	補足				目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)						
			目標値						
			実績(見込)						
算出根拠等			達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・少子化により18歳人口が減少する中、経営の安定化に十分な効果を及ぼすため、私学振興補助金の制度設計の見直しを行った。 ・高等学校定時制・通信制教育補助金は、引き続き学校経営を考慮した補助金を交付する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・私学振興補助金の制度改正による事業の効果について検証を行う。 ・高等学校定時制・通信制教育補助金は、引き続き学校経営を考慮した補助金を交付する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	私学振興補助金は、生徒数に応じた補助から、募集経費に対する補助へ制度を改正したことによる事業の効果について検証を行う。 ・高等学校定時制・通信制教育補助金は、引き続き学校経営を考慮した補助金を交付する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
	○ 維持・改善	
	拡大	
二次評価	縮小	(担当課評価に同じ)
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 2,657	6,971	7,000	7,085
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 2,462	6,332	6,055	5,979
	受益者 高等教育機関等に通う生徒	(B) 1,079	1,101	1,156	1,185

5 予算編成(Action2)

事業内容	市内高等教育機関及び高等学校等に対する教育助成	要求のポイント	事業実施の課題
------	-------------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	7,000	7,085	85	7,100	7,100	-要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	7,000	7,085	85	7,100	7,100		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	91230	幼児教育支援事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
	課			9	教育費	3		教育・文化	実施計画事業		幼児教育支援事業	
担当課	教育委員会事務局 教育総務課		内線 2347	項	1	教育総務費	分野	1	学校教育	H28実施計画額	69,000 千円	
	目	2		事務局費	4	学びのセーフティネットの構築						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	私立幼稚園(高山短大附属幼稚園・美鳩幼稚園・高山幼稚園)	どうしたいのか(意図)	・幼児教育を受けやすい環境を整えることにより、教育の機会均等を図る。 ・少子化により私立幼稚園の経営困難が続く中、幼稚園の運営を安定化させ、幼児教育環境を維持する。	概要	事業の実施手法(手段)	・市内にある私立幼稚園3園に対し、通園児1人あたり年額3,000円の運営助成を行い、教育環境の整備を行う。 ・園児の保護者に対して保育料・入園料の助成を行っている私立幼稚園に対して助成金を交付し、保護者負担の軽減を図る。
	対象者数	517 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
				実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
成果指標	就園奨励費補助対象園児数	人	目標値	490	490	490	485
			実績(見込)	515	525	490	
成果指標	市内在住園児数	人	目標値	533	550	550	550
			実績(見込)	540	542	517	
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	105	107	100	
			達成率(%)	101	99	94	
成果指標	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
			達成率(%)				
成果指標	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
			達成率(%)				
補足			目標値				
			実績(見込)				
補足			達成率(%)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・事業効果を高めるために、引き続き早期に交付を行う必要がある。
-----------------	---------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・事業効果を高めるために、引き続き早期に交付を行う。 ・引き続き事業を継続するとともに、新たな子育て制度等についても検討を進める。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・事業効果を高めるために、引き続き早期に交付を行う。 ・引き続き事業を進める。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・引き続き適正な運用に努める必要がある。 ・引き続き事業を進める。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	63,687	68,819	69,650	69,650
受益者1件当たり(円)	(A/B)	117,939	126,972	134,720	126,636	
受益者	市内在住園児数 (B)	540	542	517	550	

5 予算編成(Action2)

事業内容	【就園奨励費補助金】 ・国の基準に基づき市民税所得割課税額の段階に応じて保育料等を助成する。 【私立幼稚園運営費補助金】 ・市内にある私立幼稚園3園に対し、市内通園児1人あたり年額3,000円の運営費助成を行い、教育環境の整備を行う。	要求のポイント	低所得世帯の私立幼稚園児について、保育料及び入園料を助成することにより園児の就園の奨励と幼稚園の健全な育成を図る 保育園と同様の保育料軽減を実施	事業実施の課題
------	--	---------	---	---------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		69,650	69,650	0	70,650	70,650	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	21,300	21,300	0	22,000	22,000		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	48,350	48,350	0	48,650	48,650		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	91260	教員住宅管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
				款	9	教育費		基本分野	3	教育・文化	実施計画事業	教員住宅管理事業	
担当課	教育委員会事務局 教育総務課		内線	項	1	教育総務費		分野	1	学校教育	H28実施計画額	700 千円	
			2342	目	2	事務局費		施策概要	4	学びのセーフティネットの構築			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内対象小中学校教職員(荘川地区、上宝地区)	どうしたいのか(意図)	郊外の小中学校に在勤する教職員に対し、赴任地で安価で快適な住居を提供し、教職員の良好な生活環境を保全する。	概要	事業の実施手法(手段)	入居ノ退去希望者の入退去手続き、家賃収納事務、住宅の損傷に対する迅速な修繕を実施する。
	対象者数	123 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・住宅の損傷に対して迅速な修繕を実施した。 ・ニーズの低い施設の整理と市有遊休施設を利用して、安心安全で快適な住環境を提供した。						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	維持管理する住宅戸数	戸	目標値	34	34	23	23
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	34	34	23	
			達成率(%)	100	100	100	
成果指標	入居者数	人	目標値	21	21	21	22
	算出根拠等		実績(見込)	20	24	22	
成果指標			達成率(%)	95	114	105	
			目標値				
成果指標			実績(見込)				
			達成率(%)				
成果指標			目標値				
			実績(見込)				
成果指標			達成率(%)				
			目標値				
成果指標			実績(見込)				
			達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・継続的な住宅ニーズの把握 ・住宅の計画的修繕
-----------------	----------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・廃止施設の処分方針決定と新設施設管理方法の明確化を進める	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・適正な管理により、安心安全な住環境を提供する。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・遊休施設の利活用について検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	3,056	568	5,700	3,337
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	152,800	23,667	259,091	158,905
	受益者	入居者数	(B)	20	24	22	21

5 予算編成(Action2)

事業内容	教職員住宅の管理、軽微な修繕	要求のポイント	事業実施の課題
------	----------------	---------	---------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,700	3,337	△ 2,363	3,200	3,200	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	700	2,092	1,392	3,200	3,200		
	一般財源	5,000	1,245	△ 3,755	0	0		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	91270	教育委員会事務局運営事業費	予 算	会計	1	一般会計	総合計 画	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
担当課				内線	2342	款		9	教育費	基本分野	3	教育・文化	
				項	1	教育総務費		分野	1	学校教育	H28実施計画額	18,800 千円	
				目	2	事務局費		施策概要	4	学びのセーフティネットの構築			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内小中学校児童生徒	どうしたいのか(意図)	・教育行政全般の運営に係る事業の推進	概要	事業の実施手法(手段)	・教育行政全般の運営に係る事業の継続及び推進
	対象者数	7,744 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・高山市教育委員会点検評価委員会、高山市教育振興会議の開催							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
		達成率(%)						
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・評価対象外の為該当なし。
-----------------	---------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・評価対象外の為該当なし。										
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="3">・適正に事務事業を推進する。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="3">・引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	○維持・改善	・適正に事務事業を推進する。	拡大	縮小	○維持・改善	・引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。	拡大	縮小	廃止検討	
○維持・改善	・適正に事務事業を推進する。										
拡大											
縮小											
○維持・改善	・引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。										
拡大											
縮小											
廃止検討											

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 2,124	2,569	3,492	6,648
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 264	325	451	879
	受益者	(B) 8,047	7,910	7,744	7,563

5 予算編成(Action2)

事業内容	教育行政全般の運営にかかる事業の推進 小・中学校通学審議会、高山市教育委員会点検評価委員会、高山市教育振興会議の開催 外国人による日本語弁論大会の開催	要求のポイント	外国人による日本語弁論大会開催に係る経費を計上	事業実施の課題
------	---	---------	-------------------------	---------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	3,492	6,648	3,156	5,972	5,972	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	1,500		△1,500	1,000	1,000		
一般財源	1,992	6,648	4,656	4,972	4,972		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	91300	スクールバス管理事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
	款			9	教育費	基本分野		3	教育・文化		実施計画事業	
担当課	教育委員会事務局 教育総務課		内線	項	1	教育総務費	分野	1	学校教育	H28実施計画額	53,800 千円	
	2348		目	3	スクールバス管理費	施策概要	4	学びのセーフティネットの構築				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	遠距離通学等児童 生徒及び市民	どうしたいのか (意図)	・計画的な車両管理により遠距離通学の児童、生徒の安全で安心な通学手段の確保を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・経年及び長距離の走行により老朽化したスクールバスの更新
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	スクールバス更新 2台 (上宝地区 双六線、久々野地区 渚線)						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	スクールバス更新台数	台	目標値	2	2	2	2
活動指標	算出根拠等		実績(見込)	2	2	2	
	遠距離通学児童、生徒数	人	達成率(%)	100	100	100	
成果面	目標値		目標値	1,098	1,137	1,081	1,081
	算出根拠等		実績(見込)	1,098	1,137	1,081	
補足	達成率(%)		達成率(%)	100	100	100	
	目標値		目標値				
補足	算出根拠等		実績(見込)				
	達成率(%)		達成率(%)				
補足	目標値		目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
補足	達成率(%)		達成率(%)				
	目標値		目標値				
補足	算出根拠等		実績(見込)				
	達成率(%)		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・更新計画を基準とし、車両を計画台数どおりに更新する。また、老朽化した車両が多いため、修繕費の確保が必要である。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H27対応状況	・更新計画に合わせて実施する	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・遠距離通学児童、生徒の安全・安心なスクールバスの運行を確保する。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・適正な運用に努める必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	50,617	52,233	53,754	76,924
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	550	570	591	846
	受益者	市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	スクールバスの運行、維持管理、更新	要求の ポイント	更新計画に基づく車両更新	事業 実施の 課題	計画的な修繕・整備の実施
------	-------------------	-------------	--------------	-----------------	--------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財 源 内 訳	歳出(千円)	53,754	76,924	23,170	68,903	68,903	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	5,140	7,540	2,400	7,540	7,540		
	県支出金			0				
	その他			0	18,000	18,000		
	一般財源	48,614	69,384	20,770	43,363	43,363		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	92100 小学校管理事業費	会計	1 一般会計	総合計画	基本目標	3 生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約	高山市の次代を担う子どもたち(児童生徒)に対しては一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します
		款	9 教育費		基本分野	3 教育・文化	実施計画事業	小中学校管理事業		
担当課	教育委員会事務局 教育総務課	項	2 小学校費		分野	1 学校教育	H28実施計画額	203,000 千円		
	内線 2342	目	1 学校管理費		施策概要	4 学びのセーフティネットの構築				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内小学校児童	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設や環境衛生設備を適切に維持管理し、安全、安心で快適な教育環境を確保する。 児童の健診や学校の衛生管理等により教育環境を整備 児童が安全で安心して教育を受けることができる教育環境を創出するため、学校施設環境の保全を行う。 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の運営及び学校設備の維持・管理 内科医・歯科医・薬剤師を委嘱し、児童の健康診断や健康管理、学校の衛生管理等を実施 学校設備、施設等の管理点検及び学校内外の防犯・防災点検を行う 学校の各種施設や設備の破損箇所の修繕及び学校備品や教材の製作等を行う
	対象者数	4,909 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 新宮小学校グラウンド排水路改修、西小学校教室棟屋上防水修繕 児童の木製机・椅子購入 70セット 嘱託医による健康診断を実施、嘱託医からの指導助言を随時受けながら学校の衛生管理を実施 学校用務職員による学校施設等の修繕 						
		指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	学校数	校	目標値	19	19	19	19
				実績(見込)	19	19	19	19
		算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	100
	成果指標	児童数	人	目標値	5,164	5,017	4,909	4,835
				実績(見込)	5,164	5,017	4,909	4,909
		算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	100
	活動指標	配置医師等数(内科・歯科・薬剤師)	人	目標値	95	95	95	95
				実績(見込)	95	95	95	95
		算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	100
	成果指標	健診を受けた児童数	人	目標値	5,164	5,017	4,909	4,835
				実績(見込)	5,164	5,017	4,909	4,909
		算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	100
	活動指標	用務員配置数	人	目標値	25	25	25	25
			実績(見込)	25	25	25	25	
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	100	
補足			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き学校維持管理の経費の削減に向けた取り組みを進める。 修繕等を専門業者に安易に依頼せず、学校用務職員自らが施工するなど、学校施設維持管理費の削減が図られている。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ、水道光熱費の削減に向けた取り組みを進める。 整備された教育環境の確保のため、内科医・歯科医・耳鼻科医を委嘱し、児童の健康診断や健康管理、学校の衛生管理等を実施する。 児童が安全で安心して学校生活を過ごすことができるよう、引き続き事業を進める。 	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設や環境衛生設備を適切に維持管理し、安全、安心で快適な教育環境を確保できるように事業を進める。 児童の健診や学校の衛生管理等により教育環境を整備できるよう、事業を進める。 児童が安全で安心して学校生活を過ごすことができるよう、事業を進める。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 用務職員を活用した学校修繕を積極的に行う必要がある。 	
拡大		
縮小		
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 195,828	191,161	203,173	270,401
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 37,922	38,103	41,388	55,926
	受益者 児童	(B) 5,164	5,017	4,909	4,835

5 予算編成(Action2)

事業内容	小学校の運営及び学校設備の維持・管理 児童の健康診断や健康管理、学校の衛生管理等を委託 学校施設の維持修繕など	要求のポイント	児童の木製机・椅子購入、学校施設の修繕 学校用務職員で営繕作業を実施し、コストの削減を図る。	事業実施の課題	老朽化した施設を計画的に修繕する必要がある。
------	---	---------	---	---------	------------------------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	203,173	270,401	67,228	202,128	202,128	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 施設整備は優先順位の高い箇所を実施 	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	1,200	1,260	60	1,200	1,200		
その他	800	1,320	520	800	800		
一般財源	201,173	267,821	66,648	200,128	200,128		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	92310 小学校大規模改修事業費	会計	1 一般会計	総合計画	基本目標	3 生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約	高山市の次代を担う子どもたち(児童生徒)に対しては、一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します。	
担当課	教育委員会事務局 教育総務課	款	9 教育費		基本分野	3 教育・文化		実施計画事業			小中学校整備事業
		項	2 小学校費		分野	1 学校教育		H28実施計画額			206,500 千円
		目	3 学校整備費		施策概要	4 学びのセーフティネットの構築					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学校児童 教職員及び一般市民	どうしたいのか(意図)	・安全で安心して学習ができ、指導できる教育環境を整えとともに、社会教育及びスポーツの振興に資する施設、また災害時の避難所となる施設の整備	概要	事業の実施手法(手段)	・学校施設の改修
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・国府小枝北舎大規模改修工事及び設計監理業務委託							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	耐震補強学校数	校	目標値	11	1	1	1
				実績(見込)	11	1	1	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
	成果指標	学校耐震化率	%	目標値	100	100	100	100
				実績(見込)	100	100	100	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
	活動指標	大規模改修学校数	校	目標値	1	1	1	1
				実績(見込)	1	1	1	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
	成果面			目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
	補足			目標値				
実績(見込)								
算出根拠等				達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・工事内容を精査し必要最小限の工事内容にすることにより、コスト縮減を図る。
-----------------	---------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・改修対象校舎の老朽化状況を把握し、非構造部材の耐震化及び大規模改修を行う	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	施設の状態に応じた改修を順次実施する。
	拡大	
	縮小	
	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
○ 廃止検討		
○ 廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	97,599	76,715	184,030	432,348
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,060	837	2,024	4,754
	受益者	市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・本郷小学校校舎大規模改修工事 ・久々野小学校プール改修工事	要求のポイント	・改修計画に基づく校舎等の大規模改修の実施	事業実施の課題
------	-----------------------------------	---------	-----------------------	---------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		184,030	432,348	248,318	335,030	335,030	・積算内容を精査 ・久々野小プール設計に必要な経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	40,415	71,567	31,152	71,700	71,700		
	県支出金	3,000	3,575	575	4,000	4,000		
	その他			0	200,000	200,000		
	一般財源	140,615	357,206	216,591	59,330	59,330		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	93100 中学校管理事業費	会計	1 一般会計	総合計画	基本目標	3 生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約	高山市の次代を担う子どもたち(児童生徒)に対しては、一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します。
		款	9 教育費		基本分野	3 教育・文化	実施計画事業	小中学校管理事業		
担当課	教育委員会事務局 教育総務課	項	3 中学校費		分野	1 学校教育	H28実施計画額	128,000 千円		
	内線 2342	目	1 学校管理費		施策概要	4 学びのセーフティネットの構築				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内中学校生徒	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設や環境衛生設備を適切に維持管理し、安全、安心で快適な教育環境を確保する。 生徒の健診や学校の衛生管理等により教育環境を整備 生徒が安全で安心して教育を受けることができる教育環境を創出するため、学校施設環境の保全を行う。 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の運営及び学校施設の適切な維持・管理 内科医・歯科医・薬剤師を委嘱し、生徒の健康診断や健康管理、学校の衛生管理等を実施 学校設備、施設等の管理点検及び学校内外の防犯・防災点検を行う 学校の各種施設や設備の破損箇所の修繕及び学校備品や教材の製作等を行う
	対象者数	2,835 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中山中学校校舎等外壁改修工事、日枝中学校屋内運動場床改修工事 ・生徒の木製机・椅子購入 30セット ・嘱託医による健康診断の実施、嘱託医からの指導助言を受けながら学校の衛生管理を実施 ・学校用務職員による学校施設等の修繕 						
		指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	学校数	校	目標値	12	12	12	12
		実績(見込)			12	12	12	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	成果指標	生徒数	人	目標値	2,883	2,893	2,835	2,728
		実績(見込)			2,883	2,893	2,835	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	配置医師等数(内科・歯科・薬剤師)	人	目標値	60	60	60	60
		実績(見込)			60	60	60	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100		
成果指標	健診を受けた生徒数	人	目標値	2,883	2,893	2,835	2,728	
	実績(見込)			2,883	2,893	2,835		
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100		
活動指標	用務員配置数	人	目標値	15	15	15	15	
	実績(見込)			15	15	15		
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100		
補足			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き学校維持管理の経費の削減に向けた取り組みを進める。 ・修繕等を専門業者に安易に依頼せず、学校用務職員自らが施工するなど、学校施設の維持管理費の削減が図られている。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ、水道光熱費の削減に向けた取り組みを進める。 ・整備された教育環境の確保のため、内科医・歯科医・耳鼻科医を委嘱し、生徒の健康診断や健康管理、学校の衛生管理等を実施する。 ・生徒が安全で安心して学校生活を過ごすことができるよう、引き続き事業を進める。 	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設や環境衛生設備を適切に維持管理し、安全、安心で快適な教育環境を確保できるように事業を進める。 ・生徒の健診や学校の衛生管理等により教育環境を整備できるよう、事業を進める。 ・生徒が安全で安心して学校生活を過ごすことができるよう、事業を進める。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・用務職員を活用した学校修繕を積極的に行う必要がある。 	
拡大		
縮小		
○維持・改善		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	131,749	104,852	123,030	212,573
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	45,699	36,243	43,397	77,923
	受益者 市内中学校生	(B)	2,883	2,893	2,835	2,728

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の運営及び学校設備の維持・管理 ・生徒の健康診断や健康管理、学校の衛生管理を委託 ・学校施設の維持修繕など 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の木製机・椅子購入、学校施設の修繕 ・学校用務職員で営繕作業を実施し、コストの削減を図る。 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した施設を計画的に修繕する必要がある。
------	---	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	123,030	212,573	89,543	162,247	162,247	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査 ・施設整備は優先順位の高い箇所を実施 	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	500	540	40	500	500		
その他	1,400	1,080	△320	1,400	1,400		
一般財源	121,130	210,953	89,823	160,347	160,347		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	93250	通学路照明灯整備事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画		市長公約
	款			9	教育費	基本分野		3	教育・文化		実施計画事業	通学路照明灯整備事業	
担当課	教育委員会事務局 教育総務課		内線	項	3	中学校費	分野	1	学校教育	H28実施計画額	8,600 千円		
	2347			目	2	教育振興費		施策概要	4		学びのセーフティネットの構築		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内中学校に通学する生徒	どうしたいのか(意図)	・中学生の下校時における安全確保のため、通学路照明灯の設置を行い、安全で安心な通学路を維持する。 ・中学生(小学生含む)が登下校時における安全確保のため、通学路の安全対策を実施し、安全で安心な通学路を維持する。	概要	事業の実施手法(手段)	・学校・PTA・町内会等の要望により、設置箇所の把握及び調査を行い、優先順位の高い箇所から順次設置すると同時に、不必要なものは撤去する。 ・高山市通学路推進会議を設置し関係機関で情報共有を図り、通学路の安全対策を検討・実施する。
	対象者数	2,835 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		・通学路照明灯を10基新設 ・学校・PTAからの安全対策要望箇所を高山市通学路推進会議の関係機関で情報共有し安全対策を検討・実施						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
		通学路照明灯の設置数	基	目標値	94	10	10	10
	算出根拠等		実績(見込)	87	10	6		
	達成率(%)	93	100	60				
	活動指標	高山市通学路推進会議開催数	回	目標値		1	1	1
		算出根拠等		実績(見込)		1	1	
	達成率(%)		100	100				
	成果面			目標値				
		算出根拠等		実績(見込)				
	達成率(%)							
補足			目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
達成率(%)								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・新たに通学路指定された場所は、早急に照明灯設置が必要かを判断する必要がある。 ・通学路が解除され今後もしばらくの間通学路とされない照明灯は、町内会等と協議の上譲渡または廃止移設する必要がある。 ・既設の蛍光灯をLED改修し、電気料の縮減を図る必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・統合型GIS及び現地において整備基準に適合するかを速やかに判断し、必要に応じて整備を進める。 ・町内会等と協議の上、指定通学路外の通学路照明灯について譲渡または廃止移設を進める。 ・既設の蛍光灯照明をLED改修計画に従って順次実施する。		
次年度の実施方針	○ 維持・改善	拡大	・通学路照明灯の設置状況を把握し、設置や移設・廃止を進める。 ・既設の蛍光灯をLED改修し、電気料の縮減を図る。
	○ 維持・改善	縮小	
二次評価	拡大	(担当課評価に同じ)	
	縮小		
	廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	8,889	3,870	11,800	8,428
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	3,083	1,338	4,162	3,089
	受益者	中学校生徒	(B)	2,883	2,893	2,835	2,728

5 予算編成(Action2)

事業内容	・通学路照明灯の設置(新設・移設)、改修及び撤去工事 ・通学路照明灯の維持管理	要求のポイント	・新規通学路に対する通学路照明灯整備(LED灯の新設及び既設照明灯の移設) ・既設通学路照明灯のLED改修	事業実施の課題	・通学路照明灯の未設置箇所の早急な把握と整備
------	--	---------	--	---------	------------------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		11,800	8,428	△ 3,372	8,200	8,200	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	3,520	2,885	△ 635	2,750	2,750		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	8,280	5,543	△ 2,737	5,450	5,450		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	93310 中学校大規模改修事業費	会計	1 一般会計	総合計画	基本目標	3 生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約	高山市の次代を担う子どもたち(児童生徒)に対しては、一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します。
担当課	教育委員会事務局 教育総務課	款	9 教育費		基本分野	3 教育・文化	実施計画事業	小中学校整備事業		
		項	3 中学校費		分野	1 学校教育	H28実施計画額	323,500 千円		
		目	3 学校整備費		施策概要	4 学びのセーフティネットの構築				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中学校生徒、教職員及び一般市民	どうしたいのか(意図)	安全で安心して学習ができ、指導できる教育環境を整えとともに、社会教育及びスポーツの振興に資する施設、また災害時の避難所となる施設の整備	概要	事業の実施手法(手段)	学校施設の改修
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	松倉中学校校舎大規模改修工事及び設計監理業務委託							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	耐震補強学校数	校	目標値	6	1	1	1
				実績(見込)	6	1	1	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
	活動指標	学校耐震化率	%	目標値	100	100	100	100
				実績(見込)	100	100	100	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
	活動指標	大規模改修学校数	校	目標値	1	1	1	1
				実績(見込)	1	1	1	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
	補足			目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・工事内容を精査し必要最小限の工事内容にすることにより、コスト縮減を図る。
-----------------	---------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・改修対象校舎の老朽化状況を把握し、非構造部材の耐震化及び大規模改修を行う。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	施設の状態に応じた改修を順次実施する。
	拡大	
	縮小	
	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	52,715	199,562	347,030	354,775
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	572	2,179	3,816	3,901
	受益者	市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	清見中学校校舎大規模改修工事	要求のポイント	・改修計画に基づく校舎等の大規模改修の実施	事業実施の課題
------	----------------	---------	-----------------------	---------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		347,030	354,775	7,745	362,030	362,030	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	77,704	52,480	△ 25,224	52,480	52,480		
	県支出金	4,000	4,675	675	5,000	5,000		
	その他			0	290,000	290,000		
	一般財源	265,326	297,620	32,294	14,550	14,550		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	95300	学校給食運営事業費	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画		市長公約	高山市の次代を担う子どもたち(児童生徒)に対しては、一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します。
	課			9	教育費		3	教育・文化		実施計画事業	学校給食運営事業 食育推進事業		
担当課	教育委員会事務局 教育総務課		予算	5	保健体育費	分野	1	学校教育	H28実施計画額	186,400 千円			
		内線		3	学校給食センター費		2	豊かな心と健やかな体を育む教育の推進					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	児童、生徒等	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 安全で魅力ある学校給食を実施し、児童生徒の心身の健全な発達を図る。 学校給食を活用した食に関する指導の実施により、食育の推進を図る。 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 地元食材を積極的に購入使用することにより、給食の安全安心を確保し、バラエティーに富んだ献立等を給食に取り入れる。 衛生管理の徹底や施設の補修、検等を実施し、運営を支援なく行う。 郷土料理や地元産品を使用した献立を提供し、それを活用した食育指導を行う。
	対象者数	7,797 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ニーズの多様化のなかで献立を工夫し、児童生徒に安全で栄養バランスのとれた給食を年間1,470,145食を供給することができた。 栄養教諭等による食育授業や学校訪問、試食会での講話を実施した。 調理施設及び器具の殺菌消毒、職員便検査及び施設環境検査等を定期的に実施し、衛生管理の充実を図った。 給食供給のない3期休業中に、老朽化した施設や機械設備の清掃、点検および修理を実施した。 						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	給食供給数(年間)	食/年	目標値	1,539,570	1,501,830	1,480,185	1,442,260
	算出根拠等	供給した学校給食数	実績(見込)	1,503,797	1,470,145	1,450,000	
成果指標	食中毒等の健康被害事故が無い日	日	目標値	198	200	197	185
	算出根拠等	調理施設稼働日数、給食供給した日	実績(見込)	198	200	197	
成果指標	朝食を毎日食べる児童生徒の割合	%	目標値	100	100	100	100
	算出根拠等	食生活アンケート(小学校高学年及び中学生のうちの該当者数の割合)	実績(見込)	94	94	95	
成果指標	給食の栄養価 小学生	kcal	目標値	640	640	640	640
	算出根拠等	カロリー平均値、基準値	実績(見込)	663	654	640	
成果指標	給食の栄養価 中学生	kcal	目標値	820	820	820	820
	算出根拠等	カロリー平均値、基準値	実績(見込)	837	830	820	
補足	高山市内5センターについて、経常経費の削減に努めながら実施した。						
	地元産食材をより積極的に購入することにより、安全で安心な給食を提供した。毎月の給食だよりの発行や夏休み期間を利用した給食づくり体験や親子料理教室を開催し、食への関心を高めた。						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	引き続き、安全で衛生的かつおいしい給食を、効率よく安定的に供給するために、第八次総合計画に基づき施設を整備していく。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	引き続き、地元産食材を使用して安全で安心な給食提供を行うとともに食育の推進に取り組み、今後の施設整備について検討していく。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 前年度から引き続き、給食の供給、食育推進の課題に取り組み、これらが安定的に実施できるよう第八次総合計画に基づき施設整備について検討していく。 施設整備計画を早期に策定する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	○ 維持・改善	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	166,130	170,440	184,941	195,233
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	20,115	21,000	23,115	25,040
	受益者	児童、生徒等	(B)	8,259	8,116	8,001	7,797

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食5センターの運営 調理施設等の衛生管理および維持管理 栄養教諭等による指導や郷土食や地元産品を使用することによる食育の推進 夏休み親子料理教室等や食育だよりの発行など食に関する事業の実施 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食5センター(高山、清見、一之宮、久々野、本郷)の適正な運営 施設、機能を確保するための修繕・整備 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き安全で衛生的かつおいしい給食を、安定的に提供する。 アレルギー対応は安全を優先し実施する。
------	--	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		184,941	195,233	10,292	189,424	189,424	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	7,900	8,303	403	8,200	8,200		
	一般財源	177,041	186,930	9,889	181,224	181,224		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	95310 学校給食機器等整備事業費	会計	1 一般会計	総合計画	基本目標	3 生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約	高山市の次代を担う子どもたち(児童生徒)に対しては、一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します。
		款	9 教育費		基本分野	3 教育・文化	実施計画事業	学校給食機器等整備事業		
		項	5 保健体育費		分野	1 学校教育	H28実施計画額	12,000 千円		
担当課	教育委員会事務局 教育総務課	目	3 学校給食センター費		施策概要	2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進				
	内線 2973	予算								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	児童、生徒等	どうしたいのか(意図)	・学校給食を安全確実に供給するため定期的な機械器具等の更新を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・給食提供用食器器具類の更新 ・調理用機械器具の更新 ・配送車両の更新
	対象者数	7,797 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 給湯ボイラを更新した。 学校への給食提供用の皿等を更新した。 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	給食供給数(年間)	食/年	目標値	1,539,570	1,501,830	1,480,185	1,442,260
				実績(見込)	1,503,797	1,470,145	1,450,000	
	成果指標	算出根拠等 供給した学校給食数		達成率(%)	98	98	98	
				突然の給食停止がない日	日	目標値	198	200
		算出根拠等 調理施設稼働日数、給食供給した日		実績(見込)	198	200	197	
				達成率(%)	100	100	100	
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
		算出根拠等		実績(見込)				
達成率(%)								
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	備品購入の順位付けを適切に行うなど効果的に事業を実施している。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・定期的に給食提供するため現有機器について、計画に沿った更新を実施していく。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・定期的に給食提供するため、現有機器について計画的に更新を実施する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・定期的に給食提供するため、現有機器について計画的に更新を実施していく。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	6,844	13,039	13,000	12,812
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	829	1,607	1,625	1,643
	受益者	児童、生徒等	(B)	8,259	8,116	8,001	7,797

5 予算編成(Action2)

事業内容	・給食供給用器具及び調理用機械器具の更新 ・給食配送車両の更新	要求のポイント	・整備計画に基づく車両等の更新	事業実施の課題	・経年使用による機械器具の劣化が増加している
------	------------------------------------	---------	-----------------	---------	------------------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	13,000	12,812	△ 188	12,000	12,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0	5,000	5,000		
	一般財源	13,000	13,912	912	7,000	7,000		